

みなさん、こんにちは。

今年は本当に雨が多いですが、日曜日はすっきりと晴れました。20日(土)には兵庫県生物学会の総会が会議室で開かれ、朝早くから明石公園での観察会も行われました。「コケ・シダグループの人、集まってください」「鳥グループはこの先生」「昆虫は」という声が聞こえ、いろいろ専門があるのだなぁと感心してしまいました。

1. 講演会「日本の南画の流れ 与謝蕪村・池大雅から北村李軒へ」

5月21日(日)、甲南女子大学の木村重圭教授を講師に「日本の南画の流れ 与謝蕪村・池大雅から北村李軒へ」と題した講演会を開催しました。熱心な南画・日本画のファン69名が参加し、木村先生のお話に耳を傾け、南画のスライドを合わせて鑑賞しました。

江戸時代の初め、1654年に中国から来た隠元とその弟子たちが伝えた南画は、派といったスタイルを継承するような絵ではなく、画家の個性を生かし、自分の表現が可能な絵として描き続けられました。与謝蕪村や池大雅などは職業画家として活動し、その後の南画家も個性的な絵をたくさん残しています。「蛮社の獄で歴史の教科書にも紹介されている渡辺崋山が描いた肖像画は本当にいいですよ」と木村先生が解説され、京・大坂と江戸の南画家から北村李軒にいたる南画の流れが詳しく紹介されました。



木村重圭教授



講演会後の観覧

北村李軒展 : 6月11日(日)まで

2. 小さな展覧会「明石の野鳥展」開催中

現在開催中の小さな展覧会は「明石の野鳥」という写真展です。明石も年々都市化が進み、いたるところが宅地になり、大きな施設も相次いで建設されています。しかし、ため池や田んぼ、海岸や明石公園など、残された身近な自然の中でしっかりと生きる野鳥の姿を撮影した貴重な写真22点を展示中です。夏鳥、冬鳥、留鳥など季節ごとの鳥たちの姿を撮影したのは日本野鳥の会兵庫県支部会員の松重和太さん(神戸市西区)。野鳥が見せる一瞬をとらえた写真は必見です。



ジョウビタキ(オス)



ミコアイサ



アオバズク

明石の野鳥展 : 6月18日(日)まで

3. 明石昆虫探検隊 5月27日(土)活動開始!

去年に続き今年も活動します。応募した15名の小学生が今年はどうな昆虫たちに出会うのでしょうか。